

2023 年度勤労者支援職域管理栄養士・栄養士 育成のための全国リーダー研修会報告

開催日：2023年12月9日（土）13：00～16：00

会 場：Web開催（Zoom）

【開始挨拶】（國分委員長）

勤労者支援職域最後の会議になるが、32名の代表の参加の返事があった。総会をはじめすべてがZoomになってしまったことで、リーダー研修会の集まりも悪くなってしまったこともあるが、また増えてきて嬉しく思う。会員数や活動についてできなかったこともあるが、みなさまにはいつも尽力いただきありがたいと思っている。

【2023年度事業執行報告について】

（國分委員長・松本委員）

4回の推進委員会と本会であるリーダー研修会また1月には全国矯正栄養士研修会も予定されている。（資料参照）これとは別に勤労者支援では、4つの領域に分かれて活動する中で今は3つの領域として各月1回の話し合いの機会を持っている。

【領域別発表】

（食事提供領域）

食事提供領域における現状と課題1

（佐藤委員）

食事提供領域における現状と課題2

（小川委員）

（健康情報提供領域）

健康増進推進に向けての現状と課題

（今川委員）

（製造・流通領域）

健康推進増進に向けての現状と課題

（水野委員・鷺見サブリーダー）

（領域別総括）（國分委員長）

密度の高い話を聞いてもらった。それぞれが私たちに重要な課題と思いをすべて表現できたのではないかと思う。勤労者支援は特殊な職域でそれぞれの職域の課題と問題があって、それを日栄として吸い上げて解決していく形が今後の日栄。日栄が変化していく最中にいるが、今

の活動を継続し、仲間と繋がってほしいし、その中に発見があると思う。

それぞれの課題も（入会も含めて）繋がるのが重要だと示唆された。

今後の勤労者支援については、各県ではもう一期は様子見をしてみたいというところがほとんどだが、県によってはすでに地域活動とうまく連携できているところもある。HPや日栄雑誌等に随時情報が載るので確認してほしい。

（フリーランス・栄養関連企業等 職域について）（鈴木副会長）

地域活動と勤労者支援の職域は診療報酬のような、直接政策に関わるのが少ない。また、全ての政策において、具現化するときに関わるという特徴がある。政策の立案・実行・運営等を考えた結果、二つを合わせて職域「フリーランス・栄養関連企業等」とした。名称は諮問会議において決定した。

「職域」とは政策集団のことで、「分野」とは会員個人が学びたいところをさす。

日本栄養士会は、会員にニーズに合わせた「分野」を設定し、人材育成を進めている。今後はこの「分野」について整備・充実をさせていく。

以 上

（文責 勤労者支援 松本 勲）